

特集 コンクリートポンプ

全国コンクリート圧送事業団体連合会 長谷川員典会長

適正単価の維持を

工事減で安値受注増加

新型コロナウイルス感染症の影響で生コン需要が落ち込み、コンクリート圧送も冷え込んだ。一方、来以降に都市部で大型再開発が動き出す見通しで、有力業者を中心に大型ポンプ車やディストリビューターなど設備投資を始めている。圧送の現状と課題、全国コンクリート圧送事業団体連合会の事業について長谷川員典会長に聞いた。また、圧送の技術的動向や今後に対する期待について日本大学理工学部の中田善久教授に語ってもらった。



—コンクリート圧送業界の現状からお話しします。

「首都圏は東京オリピック関連工事が終わり、都市部各地で計画されている再開発工事に移るはずだ。しかし、オリピックが1年延期になり、再開発工事がストップしたまま。国土交通省関東地方整備局はオリピック期間中の直轄工事の取り組み方針を決定しており、対象地域では日中の路上工事を避け、工事関係車両の削減を求めている。民間工事でも工事調整への依頼が出るなど、建設業界への影響も大きくなりそうだ。工事量が減ったことで、セネコンの安値受注も増え、これに伴い単価を下げる圧送業者も出てきていると聞いてい

「東海地区は打設数量が減ったが、売上高は前年割れせずキープしている。単価以外の付帯料金を確保できていた。一方、民間工事はかなり減少している点は気がかりだ」

「基本的には民間工事は減っているが、都市部では大型工事の計画が複数あり、悲観はしていないだろうが」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「新型コロナウイルス感染症の影響で生コン需要が落ち込み、コンクリート圧送も冷え込んだ。一方、来以降に都市部で大型再開発が動き出す見通しで、有力業者を中心に大型ポンプ車やディストリビューターなど設備投資を始めている。圧送の現状と課題、全国コンクリート圧送事業団体連合会の事業について長谷川員典会長に聞いた。また、圧送の技術的動向や今後に対する期待について日本大学理工学部の中田善久教授に語ってもらった。

「東海地区は打設数量が減ったが、売上高は前年割れせずキープしている。単価以外の付帯料金を確保できていた。一方、民間工事はかなり減少している点は気がかりだ」

「基本的には民間工事は減っているが、都市部では大型工事の計画が複数あり、悲観はしていないだろうが」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「新型コロナウイルス感染症の影響で生コン需要が落ち込み、コンクリート圧送も冷え込んだ。一方、来以降に都市部で大型再開発が動き出す見通しで、有力業者を中心に大型ポンプ車やディストリビューターなど設備投資を始めている。圧送の現状と課題、全国コンクリート圧送事業団体連合会の事業について長谷川員典会長に聞いた。また、圧送の技術的動向や今後に対する期待について日本大学理工学部の中田善久教授に語ってもらった。

「東海地区は打設数量が減ったが、売上高は前年割れせずキープしている。単価以外の付帯料金を確保できていた。一方、民間工事はかなり減少している点は気がかりだ」

「基本的には民間工事は減っているが、都市部では大型工事の計画が複数あり、悲観はしていないだろうが」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「新型コロナウイルス感染症の影響で生コン需要が落ち込み、コンクリート圧送も冷え込んだ。一方、来以降に都市部で大型再開発が動き出す見通しで、有力業者を中心に大型ポンプ車やディストリビューターなど設備投資を始めている。圧送の現状と課題、全国コンクリート圧送事業団体連合会の事業について長谷川員典会長に聞いた。また、圧送の技術的動向や今後に対する期待について日本大学理工学部の中田善久教授に語ってもらった。

「東海地区は打設数量が減ったが、売上高は前年割れせずキープしている。単価以外の付帯料金を確保できていた。一方、民間工事はかなり減少している点は気がかりだ」

「基本的には民間工事は減っているが、都市部では大型工事の計画が複数あり、悲観はしていないだろうが」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

QRコードで見える化

技能、職歴を一目で確認

「QRコードによる圧送工事業者の見える化を始めます。『専門工事業者や技能者の施工能力を発注者や元請会社などに広く社会に開示する、いわゆる『見える化』が各所で始まっている。全圧送でもコンクリート圧送工事の見える化を進め、労働災害を防止し、安全で高品質な施工の確保に寄与する目的で取り組んだ」

「具体的なQRコードは、圧送業者がQRコードに記載されたカードを保持し、このQRコードを建設現場で読み取ることでコンクリートポンプ車の法定点検や検査記録表、圧送技能者が保有する資格などがその場で確認できるシステムである。全圧連の会員企業のみが登録できるもので、登録申し込みはポンプ車一台、圧送技能者一人から可能である。そのために、

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「5年に一度開く基幹技能者更新講習はWeb講習を9月1日から10月4日にかけて行ったほか、3月13日に希望者を対象に東京と大阪で集合講習を行った。合計121人の基幹技能者が更新講習を修了している」

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想

「建設キャリアアップシステム(CCUS)は、専門工事業者の地位向上には必要なことだと感じているが、予想